学校番号	414

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校美術２						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	内容	主な評価の観点				単元（題材の評価基準）	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	人物クロッキー	【絵画】 ・一人のモデルを短時間で仕上げる ・骨格を意識して人を描く ・立体的に形を捉え、平面的にならないようにする		○	○ ○		b:一人のモデルが画面に入りきるように考えながら制作できる c:骨格を意識し、モデルが誰であるのかわかるように描ける c:平面的にならずに、立体的に人物を捉えることができる。	・制作の様子 ・完成作品 ・完成作品
	ファッションデザイン	【デザイン】 ・ファッションの中にある「コンセプト」を意識して作品の構想を練る ・何度も練習し、より良いデザイン画を制作する	○	○	○		a:普段生徒が目にする「服」がどういった考えで作られているのかを考え、自分の作品に反映させることができる b:デザインの中にコンセプトをしっかりと持つことができる c:一枚で満足せずに様々な表現方法を探っていくことができる	・デザイン画 ・ワークシート ・完成作品
	人物画	【絵画】 ・身近にいる人の雰囲気を捉え、制作する。 ・色彩やデッサンを意識して画面構成する		○	○ ○		b:モデルの持っている雰囲気を捉え、画面上に表現することができる c:表現方法にこだわり、丁寧に仕上げることができる c:色彩構成やデッサンを意識して誰を描いたのかがわかるような仕上がりを目指すことができる	・完成作品 ・完成作品 ・作品制作の様子
2学期	テクニックコラージュ	【絵画】 ・様々な技法を試し、より多くの技法を体験する。 ・制作した素材を使い、画面を構成し作品を制作する	○		○	○	a:様々な技法に関心を持ち、表現の可能性を探求できる c:テーマに合致した構成を意識し、素材を選択することができる d:製作中の作品がよりよく見えるように常に客観視をし続けることができる	・作品制作の様子 ・完成作品 ・作品制作の様子

	照明デザイン	【デザイン、工芸】 ・「いつ」「どこで」「誰が」扱うかを想定し形をデザインする。 ・実際に制作したものが、コンセプトに合っているかを確認しながら作品を制作する ・他者の作品を見てコンセプトを感じ取る	○	○		○	a:「デザインとはなにか」を探求し意欲を持ってデザインの案を出すことができる b:常にコンセプトを意識し、作品を制作していくことができる d:他者の作品を鑑賞し、コンセプトを感じ取ることができ、また自分の作品を客観的に鑑賞することができる	・デザイン画 ・作品制作の様子、完成作品 ・ワークシート
	スタイロ彫刻	【彫刻】 ・動物をモチーフに正面、横、上など様々な方向から見ても成り立つ造形を考える ・実際に削りだしていきながら形のバランスを整えていく ・モチーフの表情を意識して形を仕上げていく	○	○	○		a:立体造形に関心を持ち、意欲的に立体造形のエスキースを作っていくことができる b:削りだしながら形を整え、無理のない造形を作り出すことができる。 c:ディティールにこだわり、納得することができるまで仕上げていくことができる	・ワークシート ・作品制作の様子 ・完成作品
3学期	版画	【版画・工芸】 ・版画技法に親しみ、様々な表現を目指す ・何度も繰り返し刷っていきながら生徒自身が納得できる作品を制作する	○		○		a:版画技法に関心を持ち意欲的に制作に励むことができる。 c:より良い作品を制作するために何度も手直しを繰り返し、制作することができる	・作品制作の様子 ・完成作品
	鑑賞レポート	【鑑賞】 ・作品を鑑賞し、自分なりの感想を表現できる。				○	d：作品を観察し自分なりの解釈をもって文章として表現できている。	・レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。